

<p>CRI MPEG Sofdec</p> <p>S o f d e c マルチプレクサ</p> <p>(SFDMUX)</p>
<p>ユーザーズマニュアル</p>

1998 年 06 月 25 日	第 1 版 (Ver . 0.91)
1999 年 05 月 20 日	第 2 版 (Ver . 1.07)
1999 年 10 月 07 日	第 3 版 (Ver . 1.12)

マルチメディア研究室	1999-10-07	御子柴			
	DATE	DSGN	CHKD	APRV	Number

株式会社 C S K 総合研究所

変 更 履 歴

年月日	バージョン	変 更 内 容
1998-06-25	0.91	新規作成。
1999-05-20	1.07	Q & A 追加。
1999-10-07	1.12	データ作成ガイドをエンコード説明書に移動。 プライベートストリーム用オプションの記述を追加。

目 次

1. 概要	1
2. 動作環境	2
2.1 実行環境	2
2.2 環境設定	2
3. 入出力ファイル	2
3.1 入力ファイル	2
3.2 出力ファイル	2
4. マルチプレクス	3
4.1 1つずつファイルを作成する	3
4.2 複数のファイルを一括して作成する	5
5. 拡張機能	7
5.1 複数入力	7
6. Q & A	8
付録A. コマンド一覧	9
A. 1 コマンド一覧	9
A. 2 コマンド仕様	10
付録B. エラー一覧	13
B. 1 コマンド解析に関するエラー	13
B. 2 マルチプレクス開始後のエラー	15
B. 3 初期化, 終了のエラー	17
B. 4 その他のエラー	17

1. 概要

Sofdec マルチプレクサ(SFDMUX)は、 MPEG1/Video ファイルとオーディオファイルから MPEG Sofdec 用のファイルを作成するツールです。

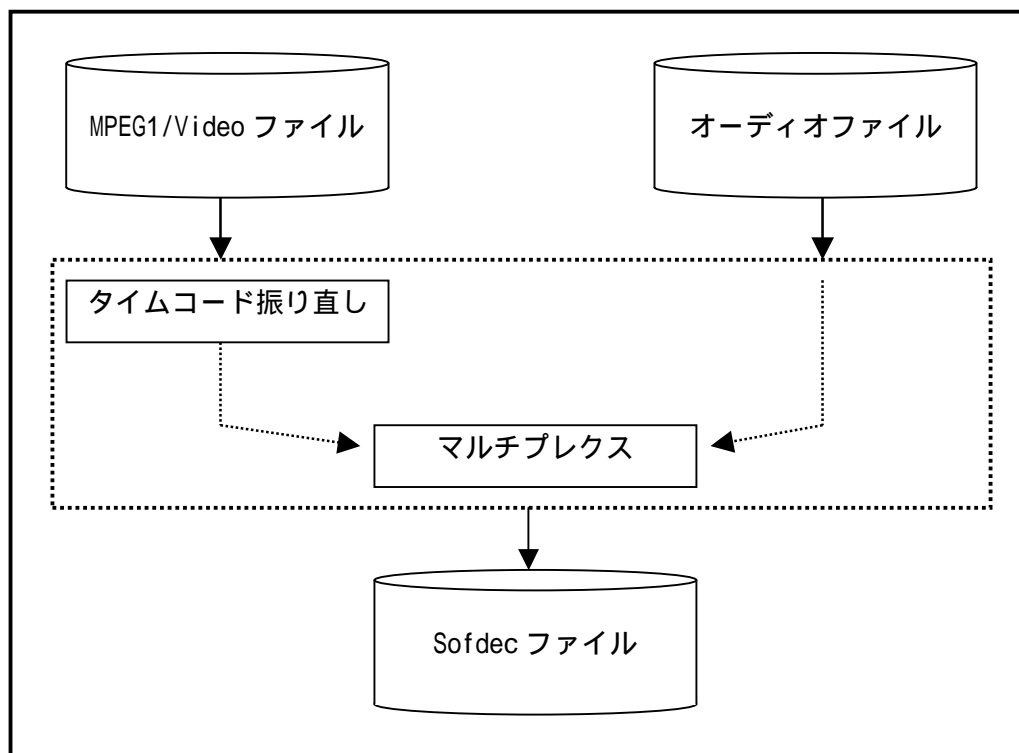


図 1 . 1 本ツールの動作概要

2. 動作環境

2.1 実行環境

本ツールは次の環境で動作します。従来の MS-DOS では動きません。

- (a) Windows95 の「MS-DOS プロンプト」
- (b) WindowsNT の「COMMAND プロンプト」

2.2 環境設定

本ツールを使用する前に、次のことを確認してください。

(1) パスの設定

本ツールの所在ディレクトリを、環境変数「PATH」に追加してください。

もしくは、本ツールを作業ディレクトリにコピーしてください。

(2) ハードディスクの空き容量

マルチプレクスするオーディオ、ビデオのファイルサイズの合計よりも、1.02 倍程度の容量が必要です。

例えば、10MB バイトのオーディオと 40MB のビデオをマルチプレクスすると、51MB くらいの空き容量が必要です。

3. 入出力ファイル

3.1 入力ファイル

表 3.1 入力ファイル

種 類	説 明
ビデオファイル (M1V ファイル)	MPEG1/Video の映像ファイルです。 Dreamcast での再生性能を上げるため、横 32, 縦 16 の倍数画素でなくてはなりません。
オーディオファイル (SFA ファイル)	音声ファイルです。 現在の Sofdec ライブラリは、Sofdec/Audio だけです。
サブコマンドファイル	本ツールを制御するコマンドを記述したテキストファイルです。 このファイルは特に必要ありません。

3.2 出力ファイル

表 3.2 出力ファイル

種 類	説 明
Sofdec ファイル (SFD ファイル)	Sofdec ライブラリが扱う、音声と映像を含むファイルです。

4. マルチプレクス

4.1 1つずつファイルを作成する

1つずつ Sofdec ファイルを作成していくには、コマンドラインオプションでパラメータを指定すると手軽です。

(1) 使用例

オーディオファイルとビデオファイルを1つずつマルチプレクスし、1つの出力ファイルを作成します。最も基本的な例を示します。

Sofdec/Audio をマルチプレクスして、Sofdec 再生用のファイルを作成する。

プロンプト

	入力ファイル	出力ファイル
C:¥>	SFDMUX	-V=OPENING.M1V -A=OPENING.SFA -S=OPENING.SFD
~~~~~	~~~~~	~~~~~
1.	2.	3. 4.

1. : 本ツール名  
2. : ビデオファイル名  
3. : オーディオファイル名  
4. : Sofdec ファイル名

図4.1 コマンドラインからの基本的な使用例

#### (2) 記述上の注意

コマンドラインオプションは、次のルールに従って記述します。

- (a) ビデオファイル, オーディオファイル, 出力ファイルを、それぞれ1つずつ指定する。(記述の順番は自由)
- (b) 各オプションとパラメータは密着させる。「=」の前後にスペースやタブを入れない。

### ( 3 ) コマンドラインオプション解説

上図 4 . 1 には 3 つのコマンドラインオプションがあります。通常はこの 3 つのオプションを覚えておくだけで十分です。詳しくは付録 A をご覧ください。

- (a) -V : ビデオの入力ファイル名を指定します。  
拡張子を省略した場合は「M1V」とみなします。
- (b) -A : オーディオの入力ファイル名を指定します。  
拡張子を省略した場合は「SFA」とみなします。
- (c) -S : 出力ファイル ( Sofdec ファイル ) 名を指定します。  
拡張子を省略した場合は「SFD」が付きます。

#### 4.2 複数のファイルを一括して作成する

複数の Sofdec ファイルを一度に作成する場合には、サブコマンドファイルやバッチファイルを使用すると効率的です。ここではサブコマンドファイルの使い方を説明します。

##### (1) 使用例

上図 4.1 の例をサブコマンドファイルを使用する方法に置き換えてみます。ファイル名の制約はコマンドラインオプションのときと同じです。

コマンドラインでは「-SUB」コマンドを使って、サブコマンドファイル名だけを指定します。出力ファイル名や入力ファイル名は、全てサブコマンドファイルの中に記述します。

【コマンドライン】

プロンプト

サブコマンド

C:¥>SFDMUX -SUB=MOVIE.SUB

~~~~~                ~~~~~

1. 2.

1. : 本ツール名

2. : サブコマンドファイル名 (内容は下記)

【サブコマンドファイルの内容】

「;」以降はコメント

[MUX]

VCH00 = OPENING.M1V

ACH00 = OPENING.SFA

SFDFILE = OPENING.SFD ;オープニング

図 4.2 サブコマンドファイルを使用した例

(2) 記述上の注意

サブコマンドファイルは、次のルールに従って記述します。

- (a) 1 行の 1 コマンドを記述する。(1 行は 250 文字以内)
- (b) ビデオビデオファイル, オーディオファイル, 出力ファイルを、それぞれ 1 つずつ指定する。
(記述の順番は自由)
- (c) 各キーワードとパラメータの間に、適度なスペースやタブを入れても良い。
- (d) コメントは「;」の後ろに記述する。

(3) サブコマンドキーワード解説

上図 4 . 2 には 4 つのコマンドラインオプションがあります。通常はこの 4 つのオプションを覚えておくだけで十分です。詳しくは付録 A をご覧ください。

- (a) [MUX] : マルチプレクスブロックの開始の印です。
- (b) VCH00 : MPEG1/Video の入力ファイル名を指定します。
拡張子を省略した場合は「M1V」とみなします。
- (c) ACH00 : オーディオの入力ファイル名を指定します。
拡張子を省略した場合は「SFA」とみなします。
- (d) SFDFILE : 出力ファイル (Sofdec ファイル) 名を指定します。

上記(a) ~ (d)のキーワードをひとまとまりとして繰り返し記述することで、複数のファイルを一括して作成することができます。

【サブコマンドファイルの内容】

[MUX]

VCH00 = OPENING.M1V

ACH00 = OPENING.SFA

SFDFILE = OPENING.SFD

[MUX]

VCH00 = ENDIGN ; 拡張子が M1V なら省略できる

ACH00 = ENDING ; 拡張子が SFA なら省略できる

SFDFILE = ENDING ; 拡張子が SFD で良いなら省略できる

図 4 . 3 複数のファイルを一括して処理する例

5. 拡張機能

本ツールには、上記 4 で説明した以外に次の様な機能があります。

Sofdec ファイルを作成するにあたっては上記 4 でまにあいます。ここで説明する機能は必要に応じて利用してください。

細かい仕様については付録 A にまとめてありますので、そちらをご覧ください。

5.1 複数入力

本ツールは、複数のオーディオやビデオをマルチプレクスすることができます。

オーディオは 32 ファイル、ビデオは 16 ファイルまでを同時に扱えます。内部的にストリーム ID で管理され、オーディオは C0h ~ DFh、ビデオは E0h ~ EFh になります。

(1) コマンドラインオプション

-A, -V を複数回指定します。

先に指定された方からストリーム ID がつけられます。

(2) サブコマンドキーワード

ACH00 ~ ACH31, VCH00 ~ VCH15 までを、重複しないように記述します。

ACH00 がストリーム ID の C0h、ACH31 が DFh になります。同様に VCH00 が E0h、VCH15 が EFh になります。

6. Q & A

よくある質問と、その回答をまとめました。

Q 1 . ロングファイル名は使えないのですか？

A 1 . 以下の問題を除けば使うことができます。

(a) OS の仕様で、コマンドライン文字列の長さが制限されている。(1)

よって、名前が長い場合、「xxxxxx~1.m1v」のような 8+3 形式でないと指定できない。

(b) 「,」を含む名前を正しく処理できない。

1) コマンドライン文字列の長さは通常 126 文字までとなります。

CONFIG.SYS で「SHELL=COMMAND.COM /P /U:255 /L:1024」と設定して再起動すると、253 文字までに拡張することができます。

Q 2 . スペースを含むファイル名は扱えないのですか？

A 2 . ファイル名を「"」で括ってください。(Ver.1.07 で対応しました)

スペースを含まないファイル名を「"」で括っても構いません。(下例参照)

例) SFDMUX -A="VOICE TEST 01.SFA" -V="MOVIE.M1V" -S=TEST01.SFD

Q 3 . ファイル名が正しいのに、ファイルが開けないことがありますか？

A 3 . 既存の読み込み専用ファイルを出力ファイルとして指定していないか、確認してください。

Q 4 . 拡張子が無いファイルを指定すると、エラーになってしまいますか？

A 4 . ファイル名の最後にピリオド「.」を付けてください。

本ツールは通常、自動的に拡張子を補完します。オプションエラー時に表示されるファイル名は、使用者が入力した文字列そのままなのでご注意ください。

付録 A . コマンド一覧

SFDMUX のコマンドラインオプションとサブコマンドキーワードの一覧を示す。

A . 1 コマンド一覧

コマンドラインオプション及びサブコマンドキーワードの一覧を、表 A.1 に示す。

表 A.1 コマンドラインオプション一覧

| 機 能 | オプション | サブコマンド | 番号 |
|----------------|-------|---------------|-----|
| マルチプレクスオプション | | | 1.0 |
| ビデオ入力ファイル指定 | -V | VCH00 ~ VCH15 | 1.1 |
| オーディオ入力ファイル指定 | -A | ACH00 ~ ACH31 | 1.2 |
| プライベート入力ファイル指定 | -P1 | PCH00 | 1.3 |
| 出力ファイル指定 | -S | SFDFILE | 1.4 |
| コマンドライン専用コマンド | | | 2.0 |
| 言語指定 | -LANG | -- | 2.1 |
| サブコマンドファイル指定 | -SUB | -- | 2.2 |
| サブコマンド専用コマンド | | | 3.0 |
| 定義ブロック開始 | -- | [MUX] | 3.1 |

A. 2 コマンド仕様

各コマンドは任意の順番で記述できる。また、大文字、小文字の区別は無い。

A 3. 既存の読み込み専用ファイルを出力ファイルとして指定していないか、確認してください。

| Title | Option Name | Option | Keyword | No |
|---------|-------------|--------|---------------|-----|
| オプション仕様 | ビデオ入力ファイル指定 | -V | VCH00 ~ VCH15 | 1.1 |

[書式] コマンドライン : -V=filename

サブコマンド : VCH??=filename

[入力] filename : 入力ビデオファイル名

[機能] ビデオ入力ファイルとビットレートを指定する。

[備考]

- (a) このコマンドは、コマンドライン及びサブコマンドの[MUX]ブロック中で複数回指定できる。
サブコマンドの場合、同じキーワードは1度だけ使うことができる。
- (b) コマンドラインの場合は指定された順にストリーム ID が割り当てられる。
サブコマンドの場合は指定のチャンネル (00 ~ 15) を直接指定できる。チャンネルは内部で実際のストリーム ID (E0h ~ EFh) に変換される。
- (c) MPEG1/Video 以外のコーデックのファイルを指定した場合はマルチプレクスできない。
- (e) このコマンドは、タイムコードを修正しながらマルチプレクスを行う。
入力のファイル自体に修正や加工は行わない。
修正後のタイムコードは、00:00:00:00 から始まるノンドロップコードになる。
- (e) filename に拡張子を付けなかった場合、拡張子に「M1V」が付いていると見なす。
拡張子が無いファイル名を指定する場合は、ファイル名の最後に「.」を付ける。

| Title | Option Name | Option | Keyword | No |
|---------|---------------|--------|---------------|-----|
| オプション仕様 | オーディオ入力ファイル指定 | -A | ACH00 ~ ACH31 | 1.2 |

[書式] コマンドライン : -A=filename

サブコマンド : ACH??=filename

[入力] filename : 入力オーディオファイル名

[機能] オーディオ入力ファイルとビットレートを指定する。

[備考]

- (a) このコマンドは、コマンドライン及びサブコマンドの[MUX]ブロック中で複数回指定できる。
サブコマンドの場合、同じキーワードは1度だけ使うことができる。
- (b) コマンドラインの場合は指定された順にストリーム ID が割り当てられる。
サブコマンドの場合は指定のチャンネル (00 ~ 31) を直接指定できる。チャンネルは内部で実際のストリーム ID (C0h ~ DFh) に変換される。
- (c) 固定ビットレートであれば、入力ファイルのコーデックは問わない。
- (d) filename に拡張子を付けなかった場合、拡張子に「SFA」が付いていると見なす。
拡張子が無いファイル名を指定する場合は、ファイル名の最後に「.」を付ける。

| Title
オプション仕様 | Option Name
プライベート入力ファイル指定 | Option
-P1 | Keyword
PCH00 | No
1.3 |
|------------------|-------------------------------|---------------|------------------|-----------|
|------------------|-------------------------------|---------------|------------------|-----------|

[書式] コマンドライン : -P1=filename

サブコマンド : PCH00=filename

[入力] filename: プライベートデータファイル名

[機能] プライベートデータ入力ファイルを指定する。

[備考]

- (a) このコマンドは、コマンドライン及びサブコマンドの[MUX]ブロック中で1度だけ指定できる。
- (b) ストリーム ID は BDh が割り当てられる。
- (c) 指定されたファイルは、Sofdec ファイルのはじめの方にかたまって配置される。
大きなデータを入れるとムービー再生開始までに時間がかかるので注意。
- (d) プライベートデータだけをマルチプレクスすることはできない。
必ず、1つ以上のオーディオかビデオを一緒に指定すること。

| Title
オプション仕様 | Option Name
出力ファイル指定 | Option
-S | Keyword
SFDFILE | No
1.4 |
|------------------|-------------------------|--------------|--------------------|-----------|
|------------------|-------------------------|--------------|--------------------|-----------|

[書式] コマンドライン : -S=filename

サブコマンド : SFDFILE=filename

[入力] filename: 出力ファイル名

[機能] 出力ファイル名を指定する。

[備考]

- (a) このコマンドは、コマンドライン及びサブコマンドの[MUX]ブロック中で1回だけ指定できる。
- (b) オーディオファイルとビデオファイルを合わせて1つ以上の入力が必要。
- (c) 拡張子を省略した場合は、「SFD」が拡張子として付加される。

| Title
オプション仕様 | Option Name
言語指定 | Option
-LANG | Keyword
-- | No
2.1 |
|------------------|---------------------|-----------------|---------------|-----------|
|------------------|---------------------|-----------------|---------------|-----------|

[書式] コマンドライン : -LANG={E | J}

サブコマンド : なし

[入力] E: 英語

J: 日本語

[機能] メッセージ表示言語を指定する。

[備考]

- (a) このコマンドは省略可能。省略時はコンソールの言語モードに合わせる。
- (b) このコマンドが複数回指定された場合、後に指定された方が有効。
- (c) このコマンドは一番最初に指定すること。

| | | | | |
|------------------|-----------------------------|----------------|---------------|-----------|
| Title
オプション仕様 | Option Name
サブコマンドファイル指定 | Option
-SUB | Keyword
-- | No
2.2 |
|------------------|-----------------------------|----------------|---------------|-----------|

[書式] コマンドライン : -SUB=filename

サブコマンド : なし

[入力] filename : サブコマンドファイル名

[機能] サブコマンドファイルを指定する。

[備考]

(a) このコマンドは省略可能。

(b) このコマンドが複数回指定された場合、後に指定された方が有効。

| | | | | |
|------------------|-------------------------|--------------|------------------|-----------|
| Title
オプション仕様 | Option Name
定義ブロック開始 | Option
-- | Keyword
[MUX] | No
3.1 |
|------------------|-------------------------|--------------|------------------|-----------|

[書式] コマンドライン : なし

サブコマンド : [MUX]

[入力] なし

[機能] マルチプレクスブロックを開始する。

[備考]

(a) 次の本キーワードが見つかるか、ファイルの終わりまでが1つのブロックになる。

(b) 1つのブロックは、1つの出力ファイルと1つ以上の入力ファイルで構成される。

(c) ブロックは1つのサブコマンドファイルの中に複数記述できる。

付録 B . エラー一覧

本ツールが出力するエラーの一覧です。日本語か英語で表示されます。

表示言語はコンソールモードが日本語の場合だけ日本語になり、そのほかは英語になります。-LANG オプションで切り替えることもできます。

B . 1 コマンド解析に関するエラー

コマンドラインやサブコマンドファイルを解析中に発生します。

| | | |
|---|-------------------------------|-------|
| コーデックが不明です。
Unknown codec. | | - 300 |
| 原因 | コーデック指定が間違っています。 | |
| 対策 | 正しいコーデック名を指定してください。 | |
| ビデオのコーデックが正しくありません。
Illegal video codec. | | - 301 |
| 原因 | ビデオのコーデック指定が間違っています。 | |
| 対策 | 正しいコーデック名を指定してください。 | |
| オーディオのコーデックが正しくありません。
Illegal audio codec. | | - 302 |
| 原因 | オーディオのコーデック指定が間違っています。 | |
| 対策 | 正しいコーデック名を指定してください。 | |
| ビットレートが正しくありません。
Bitrate value is not correct. | | - 304 |
| 原因 | ビットレートの指定方法が値が間違っています。 | |
| 対策 | 正しいビットレートを指定してください。 | |
| 言語が正しくありません。
Illegal language. | | - 306 |
| 原因 | 言語モードの指定が間違っています。 | |
| 対策 | 正しい言語モードを指定してください。 | |
| パラメータがありません。
Command parameter missing. | | - 307 |
| 原因 | オプションの書式が間違っています。 | |
| 対策 | オプションの書式を確認し、パラメータを記述して下さい。 | |
| ファイル名がありません。
File name missing. | | - 308 |
| 原因 | 入出力オプションで、ファイル名が指定されていません。 | |
| 対策 | ファイル名を記述して下さい。 | |
| 入力ファイル数が多すぎます。
Too many input files. | | - 311 |
| 原因 | オーディオかビデオの入力ファイル数が多すぎます。 | |
| 対策 | オーディオは 32、ビデオは 16 以内に減らして下さい。 | |
| 出力ファイル名が複数あります。
Too many output files. | | - 312 |
| 原因 | 出力ファイルが複数指定されています。 | |
| 対策 | 出力ファイルを 1 つだけにしてください。 | |

| | | |
|--|---|-------|
| 入出力ファイル名がありません。
Input-output file name missing. | | - 313 |
| 原因 | 入力と出力、両方のファイル名が指定されていません。 | |
| 対策 | 入力と出力のファイル名を、それぞれ1つ以上指定してください。 | |
| 出力ファイル名がありません。
Output file name missing. | | - 314 |
| 原因 | 出力ファイル名が指定されていません。 | |
| 対策 | 出力ファイル名を1つ指定してください。 | |
| 入力ファイル名がありません。
Input file name missing. | | - 315 |
| 原因 | 入力ファイル名が1つも指定されていません。 | |
| 対策 | 入力ファイル名を1つ以上指定してください。 | |
| サブコマンドファイル名がありません。
Subcommand file name missing. | | - 316 |
| 原因 | サブコマンドファイル名が指定されていません。 | |
| 対策 | オプションパラメータにサブコマンドファイル名を指定してください。 | |
| サブコマンドファイルが開けません。
Cannot open subcommand file. | | - 317 |
| 原因 | 指定したサブコマンドが無い、共有ロックされています。 | |
| 対策 | 指定したサブコマンドファイルがあるか確認してください。
ファイルがある場合には、他のアプリケーションに使われていないか確認し、もし使われていればファイルを閉じてから本ツールを動かしてください。 | |
| サブコマンドの記述エラーです。
Description of subcommand is not correct. | | - 318 |
| 原因 | サブコマンドの書式が間違っています。 | |
| 対策 | サブコマンドの書式を確認し、正しく記述してください。 | |
| キーワードが正しくありません。
Illegal keyword. | | - 319 |
| 原因 | サブコマンドのキーワードが間違っています。 | |
| 対策 | 正しいサブコマンドを記述して下さい。 | |
| オプションが正しくありません。
Illegal option. | | - 320 |
| 原因 | 存在しないオプションが指定されています。 | |
| 対策 | 正しいオプションを記述してください。 | |
| ビデオが多すぎます。
Too many video files. | | - 323 |
| 原因 | 入力ビデオ数が16を越えています。 | |
| 対策 | 入力ビデオ数を16以内に減らしてください。 | |
| オーディオが多すぎます。
Too many audio files. | | - 324 |
| 原因 | 入力オーディオ数が32を越えています。 | |
| 対策 | 入力オーディオ数を32以内に減らして下さい。 | |
| パラメータが正しくありません。
Illegal parameter. | | - 325 |
| 原因 | パラメータに本ツールが解釈できない文字が含まれています。 | |
| 対策 | パラメータにコントロールコードなど、特殊な文字が含まれていないか確認してください。 | |

B.2 マルチプレクス開始後のエラー

マルチプレクス処理中に表示されるエラーです。

これらのエラーが発生した場合は、マルチプレクスが正しく行われません。エラー原因を取り除いてやりなおしてください。

| | | |
|---|--|-------|
| Sofdec/Audio ファイルが正しくありません。
Illegal Sofdec/Audio file. | | - 202 |
| 原因 | ファイルが壊れているか、Sofdec/Audio フォーマットではありません。 | |
| 対策 | 正しいフォーマットの Sofdec/Audio を用意してやり直してください。 | |
| Sofdec/Audio ではありません。
Not Sofdec/Audio. | | - 203 |
| 原因 | ファイルが壊れているか、Sofdec/Audio ではありません。 | |
| 対策 | 正しいフォーマットの Sofdec/Audio を用意してやり直してください。 | |
| MPEG1/Video ではありません。
Not MPEG1/Video. | | - 204 |
| 原因 | ファイルが壊れているか、MPEG1/Video ではありません。 | |
| 対策 | 正しいフォーマットの MPEG1/Video を用意してやり直してください。 | |
| 画素数が正しくありません。
Illegal pixel size. | | - 206 |
| 原因 | ビデオの縦横の画素数（表示サイズ）が Sofdec ライブラリに不適切です。 | |
| 対策 | 320×240(224)など、横 32 の倍数、縦 16 の倍数のビデオを用意してやり直してください。 | |
| ピクチャーレートが正しくありません。
Illegal picture rate value. | | - 207 |
| 原因 | ビデオのファイルが壊れているか、MPEG1/Video で規定外のピクチャーレートです。 | |
| 対策 | 指定したファイルが MPEG1/Video であることを確認してください。
ファイルが壊れている場合は、もう一度エンコードしてください。
エンコード時のパラメータを確認し、正しいフォーマットの MPEG1/Video 用意してやり直してください。日本国内は 29.97fps が標準です。 | |
| ピクチャ属性が取得できません。
Cannot get picture attributes. | | - 209 |
| 原因 | ビデオのファイルが壊れているか、ヘッダが異常です。 | |
| 対策 | 指定したファイルが MPEG1/Video であることを確認してください。
ファイルが壊れている場合は、もう一度エンコードしてください。
症状が改善されない場合は、担当者にご連絡ください。 | |
| ピクチャサイズが大きすぎます。
Picture size is too big. | | - 210 |
| 原因 | ビデオの 1 ピクチャのサイズが大きすぎます。
画素数が 640×480 の様に大きかったり、ビットレートが高かったりすることが考えられます。 | |
| 対策 | 画素数を少なくしたり、ビットレートを低くしてエンコードし直してからやり直してください。
エンコード条件を変えたく無い場合は、本ツールに-ncps オプションを付けて実行し、表示されるメッセージをメモした後、担当者にお問い合わせください。 | |

| | | |
|--|---|-------|
| MPEG1/Video のヘッダがデコードできません。
Cannot decode MPEG1/Video header. | | - 212 |
| 原因 | ファイルが壊れているか、ヘッダが異常です。 | |
| 対策 | 指定したファイルが MPEG1/Video であることを確認してください。
ファイルが壊れている場合は、もう一度エンコードしてください。
症状が改善されない場合は、担当者にご連絡ください。 | |
| MPEG1/Video のヘッダが見つかりません。
Cannot find MPEG1/Video header. | | - 213 |
| 原因 | ファイルが壊れているか、ヘッダが異常です。
または、1 ピクチャのサイズが大きすぎます。 | |
| 対策 | 指定したファイルが MPEG1/Video であることを確認してください。
ファイルが壊れている場合は、もう一度エンコードしてください。
1 ピクチャのサイズが大きすぎる場合は、ビットレートを下げたり画素数を落として下さい。(参考: エラーコード -210)
症状が改善されない場合は、担当者にご連絡ください。 | |
| 出力ファイルが開けません。
Cannot open output file. | | - 214 |
| 原因 | 指定された出力ファイルが既に存在しており、書き込みが禁止されているか、ディスクの空きが無い可能性があります。 | |
| 対策 | Explore や attrib コマンドでファイルの属性を確認してください。読み込み専用属性になっていたら、属性を解除してください。
また、他のアプリケーションがファイルを使っていないか確認し、もし使われていれば、ファイルを閉じてからやり直してください。
問題解決されない場合はディスクの空きが少なくなっている可能性があります。
不要なファイルを消して空きを増やしてからやり直してください。 | |
| マルチプレクスできません。
Cannot multiplex. | | - 215 |
| 原因 | マルチプレクス中にエラーが発生し、正常に処理が終了しませんでした。 | |
| 対策 | このエラー以外の全てのエラー原因を取り除いてやり直してください。 | |

B . 3 初期化 , 終了のエラー

本ツールの動作準備中や、後始末中に表示されるエラーです。

これらのエラーが表示された場合、マルチプレクスできないか、できているように見えても正しくできていないことがあります。原因を取り除いてやり直してください。

| | | |
|---|---|-------|
| メモリが確保できません。
Cannot allocate memory. | | - 102 |
| 原因 | 本ツールの動作に必要な量のメモリが空いていません。 | |
| 対策 | Windows のシステムのプロパティなどで、スワップ先ドライブの空き容量が十分にあるか確認してください。
他のアプリケーションが起動している場合には、それらを終了させてからハードディスクのアクセスランプが消えるのを待ってから、やり直してください。 | |
| ファイルに書き込みできません。
Cannot write file. | | - 104 |
| 原因 | ファイルが書き込み保護されているか、共有ロックされています。 | |
| 対策 | Explore や attrib コマンドでファイルの属性を確認してください。読み込み専用属性になっていたら、属性を解除してください。
また、他のアプリケーションがファイルを使っていないか確認し、もし使われていれば、ファイルを閉じてからやり直してください。
問題解決されない場合はディスクの空きが少なくなっている可能性があります。
不要なファイルを消して空きを増やしてからやり直してください。 | |
| ファイルが開けません。
Cannot open file. | | - 105 |
| 原因 | ファイルが無い可能性があります。 | |
| 対策 | ファイルがあるか確認してください。 | |
| ファイルが閉じられません。
Cannot close file. | | - 106 |
| 原因 | ディスクの空きが無い可能性があります。 | |
| 対策 | 不要なファイルを消して空きを増やしてからやり直してください。 | |
| ファイルをシークできません。
Cannot seek file. | | - 107 |
| 原因 | 何らかの理由でファイルアクセスに障害が発生しています。 | |
| 対策 | 本ツールを終了させ、Windows を再起動した後にやり直してください。 | |
| ファイルが読めません。
Cannot read file. | | - 108 |
| 原因 | 何らかの理由でファイルアクセスに障害が発生しています。 | |
| 対策 | 本ツールを終了させ、Windows を再起動した後にやり直してください。 | |

B . 4 その他のエラー

上記以外のエラーが表示された場合は、担当者に問い合わせてください。